

台東区の児童館からギネス世界記録達成！！

取組の背景・目的

台東区社会福祉事業団の運営する児童館では、2021年からギネスチャレンジに参加をしてきた。①子供達の「頑張る！夢中になる気持ち！楽しむ！」を大人も子供も一緒になって全力で応援する②世界記録に挑戦できるというギネスの企画を通じて中高生世代が児童館活動に興味を持つ機会につなげる。ということを目的に、全8館でエントリーを行なった。

きっかけは、一般社団法人児童健全育成推進財団が主催する「児童館ギネス世界記録チャレンジ2021」の企画から、日常的に誰でも取り組める競技であり、子供達が世界記録にチャレンジできる良い機会であるため参加を継続している。

2022年は「ギネス世界記録からの挑戦状！」として、「30秒でもっとも多く片足で横とびをした数」「30秒でペアでもっとも多くボールを頭上と股下でパスし合う数」「30秒で目隠ししながらもっとも多くペットボトルを回した数」の3つの種目にチャレンジし、全体で609名が参加した。全国から58児童館が参加の中、台東区からは50組が予選に挑み内3組（寿児童館2名、千束児童館2名）が公式挑戦まで参加。「30秒でもっとも多く片足で横とびをした数」に挑戦した寿児童館の中学生が、見事ギネスの世界記録を打ち立てることが出来た。



取組の概要

<実施場所>各児童館 遊戯室又は図書室

<対象者>0～18歳までのすべての児童

<実施日・実施期間・活動の内容>

- 7月16日～8月3日 館内練習日 子供達に付き添い、練習や計測を行なう（付き添い職員1～2名）館内記録挑戦日。練習の中で上位の記録保持者を集め、挑戦の様子を動画撮影し児童健全育成推進財団に動画を送る。（児童対応職員1名、動画撮影職員1名）
- 8月17日 児童健全育成推進財団 開催 「ギネス世界記録チャレンジ2022公式挑戦」ZOOM配信で全国の児童館がつながり公式挑戦に参加。全館で来館児童とZOOM応援。
- 9月21日千束児童館・28日寿児童館にて「ギネス世界記録チャレンジ2022表彰式」開催 公式戦まで成績を収めた児童館では、台東区社会福祉事業団理事長よりギネス公式認定書を授与、来館児童と共に祝いする。

（理事長・立ち合い管理職5名・児童対応職員2名・行事担当3名）

工夫点・留意点

- 誰でもエントリー出来る環境づくり
 - ・参加対象を0～18歳までに設定し、誰でも参加できるようにした。
 - ・職員と一緒に遊びながら、日常的な遊びの延長で参加出来るよう働きかけた。
 - ・誰もが挑戦しやすいよう全種目から選ぶことが出来るようにした。
 - ・ギネス周知ポスターの児童館たより掲載、館内掲示、LINE配信し参加を呼び掛けた。
 - ・「ギネス世界記録2021、2022」の本やインターネットを活用したギネスについて興味を持てるようにした。

●上級生・中高生の参加

- ・行事参加者が低学年に偏りがちで、参加を恥ずかしがる高学年～中高生もいたため、実名でなくニックネームでのエントリーも可とした。

●広報

- ・記録更新達成後に「児童館号」外を発行、小学校を通じ全児童・地域協力者・関係機関等へ配布やケーブルテレビ取材、放映を受け、ギネス世界記録達成における児童館活動の周知に活用。

取組の効果

●チャレンジする気持ちが育つ

・「テレビでもやっているギネスに自分達も挑戦する機会があるなんてすごい！」という興味から「職員が応援してくれたから、勇気を出して挑戦することができた」「次はギネス新記録を自分が出したい！」など、また挑戦したいという声が多く聞かれた。

- ・行事に参加した子供達全員を表彰したことから、結果ではなく挑戦したことへの達成感や満足感を得ていた。

●高学年～中高生世代との異世代交流

・高学年や中学生が本気で取り組んでいる様子に影響を受け、自分もやってみたいという子供達が多かった。普段の努力の様子を見ることでより親近感がわき、その後の普段のかかわりや、低学年とのつながりも増え、よい異世代交流となる。

●ギネス世界記録を更新したことで

・公式挑戦に出場した中学生が今までのギネス記録（パキスタンで達成された107回）を上回る108回という記録を見事更新。ギネス記録を達成させたという経験が自信となり、他の活動にも積極的にリーダーとして活躍する場面が増えた。

●褒める

・ギネス公式認定証を台東区社会福祉事業団理事長より授与し、法人全体として子供達の頑張りを大事に、褒める機会とした。また、この取組を学校に伝えたところ、頑張る子供達の様子を喜んで頂き、全校集会などで報告して下さり、子供達は何度も喜びを味あう機会となった。

●活動の成果を周知

・『児童館号外』を小学校全校配布。中学校一部配布。地域の方々にも配布し、多くの方に児童館の取組を知って頂く機会になった。関心や喜びのお言葉もたくさん寄せていただいた。

課題・今後の展開

台東区の児童館では、これまでも「下町こどもまつり」「作品展」「下町こどもステージ」など、全8館で行なう合同行事に力を入れてきた。さらにコロナ禍で活動が制限される時期には、各児童館をオンラインで結び、毎日様々な遊びにチャレンジし記録を発表する「あそびんピック」など、8館で協力した活動に取組んできた。

今回、「ギネス世界記録からの挑戦状！」への取組では、全国の児童館と新たな連携ができ、参加児童館での活動に刺激を受け、子供達同士、挑戦意欲や頑張りが高まった結果、台東区の児童館より「ギネス世界記録を更新」する児童が誕生！！誰もが参加しやすい、このような機会や取組を活発に捉え、子供達の自己肯定感や挑戦する気持ちを高める活動を積極的に行っていきたい。また、IT技術が発達している現在、全国の児童館と活動をさらに広げていける新たな可能性も感じた。今後も台東区の児童館としても展開や研究に努め児童館の必要性や認知度をより高めていきたい。